

平成24年度第3回広島県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成25年2月7日(木) 13:30～15:30
- 2 場 所 広島県庁本館 102会議室
- 3 出席委員 古賀委員長, 金安委員, 西川委員, 葛原委員, 福田委員
- 4 議 題 第二期中期計画案について
- 5 担当部署 広島県環境県民局学事課大学管理グループ
TEL (082) 228-2111 (内線2752)

6 会議の内容

(1) 第二期中期目標案について(報告)

事務局から、資料1及び2により、12月27日に開催した第2回評価委員会及びパブリックコメントの結果を踏まえた第二期中期目標案について報告があった。

(2) 第二期中期計画案について

県立広島大学(以下、県大)から、資料3、4及び5により、第二期中期計画について説明があった。

【質疑応答及び委員意見】

- 数値目標の難易度を理解するため、現在の実力値を把握する必要がある。
- 数値目標を広く県民等の理解が得られる適切なものとするため、必要に応じて第二期中期目標期間中に数値の見直しを行ってほしい。

- 第二期中期目標の特徴的な項目(経営学機能強化、共用サテライトキャンパス等)についての評価指標は何かあるか。
(県大回答)各項目全てに数値目標を設定するのは難しいので、説得力のある資料をなるべく多く揃えるつもりである。
- 全てを数値化すれば良いとは思わない。数値目標の設定が適当でない項目については、客観的な評価が的確に行えるよう、根拠資料の収集・蓄積・公表等に十分に留意・工夫してほしい。

- 社会人として必要なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などの養成に関する記載はあるか。
(県大回答)県大スタンダード<仮称>の確立やアクティブ・ラーニングを積極的に導入した教養科目の新設等が対応していると思われる。
- 学生の「主体的な学び(能動的学修)」を拡大するための教育方法の改革(参加型授業、インターンシップ、フィールドワーク等)を意識して、その内容を中期計画に明記のうえ、重点的に取り組み、その成果を検証してほしい。
- 授業中のプレゼンテーション等の機会を通じて、学生同士が互いに切磋琢磨しながら能力を養成できる環境ができると良い。

- 第二期中期計画の着実な実施のため、大学内において目標・課題の周知を徹底するなど、関係情報並びに目的意識の共有化に一層努めること。
- 計画の履行状況や事業の成果を評価するための指標となる数値目標については、可能な限り、その設定に努めてほしい。また、設定に当たっては、設定項目の妥当性ととも、目標とする数値の妥当性について十分に検証し、根拠資料（第一期中期計画期間中の実績等）に基づいて客観的な説明ができるようにすべきである。
- 予算として記載されている運営費交付金の数字はどのように算出されているのか。
（県大回答）予算、収支計画及び資金計画については、あくまで見込みである。単年度ごとに予算編成を行うため、変動する可能性は高い。
- 計画に掲げられている教育の質保証に向けた、教育課程（プログラム）の体系化、プログラム中心の授業科目の編成への転換、全学的な教学マネジメントの確立などに関する取組は、重要である。
- 教育改善及びその質的転換に関する認識の全学的な共有を図りながら、教育課程全体での質保証に係る組織的な取組を含めた実施について、中期計画に明記すること。

7 会議の資料名一覧

【配付資料】

- 資料1 公立大学法人県立広島大学 第二期中期目標（案）
- 資料2 第2回評価委員会以降の中期目標（案）の修正点について
- 資料3 公立大学法人県立広島大学 第二期中期計画（案）策定に係る留意事項等
- 資料4 公立大学法人県立広島大学 第二期中期計画（案）の概要
- 資料5 公立大学法人県立広島大学 第二期中期計画（案）
- 資料6 公立大学法人県立広島大学 第二期中期計画（案）に対する県の意見について
- 資料7 公立大学法人県立広島大学 第二期中期目標・中期計画策定スケジュール

- 参考資料1 公立大学法人県立広島大学 第一期中期目標（平成19～24年度）
- 参考資料2 公立大学法人県立広島大学 第一期中期計画（平成19～24年度）
- 参考資料3 公立大学法人県立広島大学 第二期中期目標・中期計画対照表